歴史と未来が交差する

佐賀県伊万里市

佐賀県伊万里市は、古くから港湾都市として発展してきました。縄文時代には良質な黒曜石の産地、江戸時代には世界的に知られる伊万里焼（古伊万里）の産地として栄え、昭和期には石炭や木材の流通拠点として地域の産業を支えてきました。現在では伊万里港が国際拠点港湾に指定され、北部九州の重要な物流拠点として、さらなる発展と地域経済の成長が期待されています。

伊万里焼（古伊万里）

日本三大喧嘩祭 トンテントン

竹の古場公園から臨む伊万里湾の日の出

伊万里グリーンパワー概要

会社名	株式会社伊万里グリーンパワー
設立日	2016年9月1日
代表者	代表取締役社長　平倉　正章
株主	テス・エンジニアリング株式会社（100%出資）
所在地	佐賀県伊万里市黒川町塩屋5−42（七ツ島工業団地内）
電話番号	0955-25-8064（代表）
発電所名	佐賀伊万里バイオマス発電所
定格出力	46,000kW
年間発電電力量	約3億kWh
使用燃料・年間使用量	PKS（Palm Kernel Shell:パーム椰子殻）・約20万トン
ボイラ	循環流動層ボイラ
タービン・発電機	再熱復水タービン発電機
CO_2排出抑制効果	約13万t-CO_2/年※
敷地面積	約78,000平方メートル
運転開始	2025年4月

※電気事業者別排出係数代替値 0.000422t-CO_2/kWh にて算出
環境省ホームページ「電気事業者別排出係数一覧（令和7年提出用）」

アクセス

※JR九州 松浦鉄道 伊万里駅より車で15分。

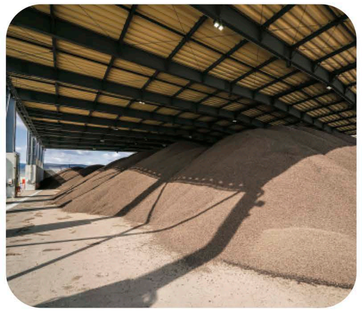
※アクセスはこちらよりご覧いただけます。

社長あいさつ

私たちは、伊万里市の七ツ島工業団地にて2025年４月にバイオマス発電事業を開始しました。伊万里は古くから港湾都市として栄え、その地の利を活かし、インドネシアから輸入したバイオマス燃料を伊万里港・久原北地区にて受け入れ、発電に使用しています。

佐賀伊万里バイオマス発電所は、周辺地域の皆様や自治体、協力会社など多くの方々のご理解やご支援をいただきながら開発を進めてまいりました。これからも皆様への感謝の気持ちを忘れず、発電事業を通じて伊万里市をはじめとする周辺地域の活性化につなげてまいります。

代表取締役社長
平倉　正章



2025年5月発行

伊万里グリーンパワー

IMARI GREEN POWER

佐賀伊万里バイオマス発電所

仕組み 燃料調達から発電まで

佐賀伊万里バイオマス発電所は、
持続可能なバイオマス発電事業でエネルギー脱炭素化を目指します。

伊万里グリーンパワーは、伊万里市をはじめとする地域の皆さまや企業のご協力のもと、発電所を運営しています。地域の良好な環境を守るため、伊万里市と環境保全協定を締結し、環境負荷の低減に努めています。再生可能エネルギーによる電力を安定的に供給するとともに、発電所の運転・保守や燃料の供給といった事業活動を通じて、地域産業の振興や雇用の創出を図り、地域社会の活性化に貢献してまいります。

燃料調達 → 輸送 → 貯蔵 → 発電 → 送電

POINT ❶
バイオマス燃料であるPKSです。乾燥させたパーム椰子殻を使っています。インドネシアから船で伊万里港に届けています。

POINT ❷
PKSを貯蔵するヤードです。最大で約2万トンのPKSを保管できます。巨大な重機がPKSの運搬・投入を行っています。

POINT ❸
発電所の心臓部であるボイラです。PKSを燃焼させ高圧の蒸気を作り出す装置です。効率の良い循環流動層という方式を採用しています。

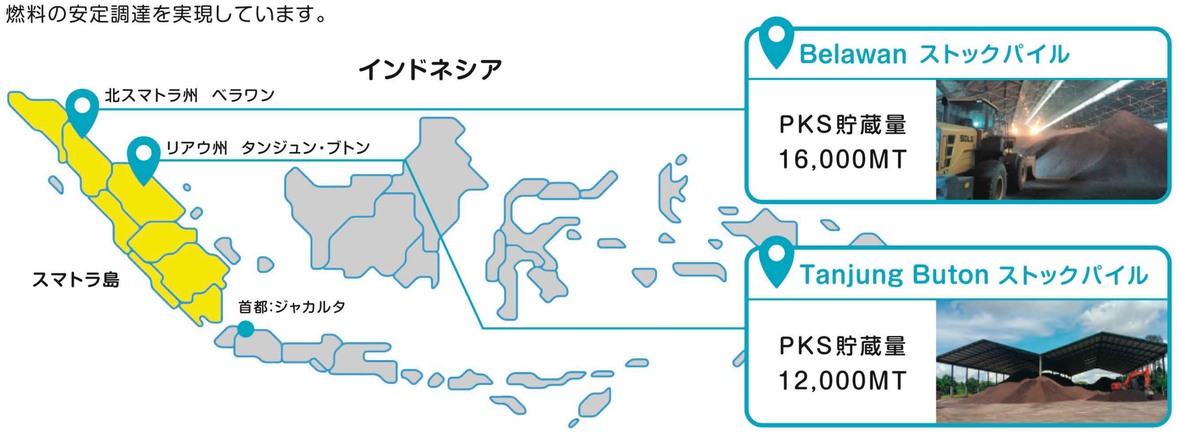
POINT ❹
ボイラで生み出した蒸気をタービンに投入して発電機を動かします。1分間に3,600回の高速回転により電気が生み出されます。

POINT ❺
発電に使用した蒸気は復水器により冷却され、水になってボイラに再び送られます。蒸気の冷却には伊万里湾の豊富な海水を利用しています。

POINT ❻
発電所の運転操作は中央操作室のコンピュータで実施します。安全第一、24時間体制で運転を続けています。

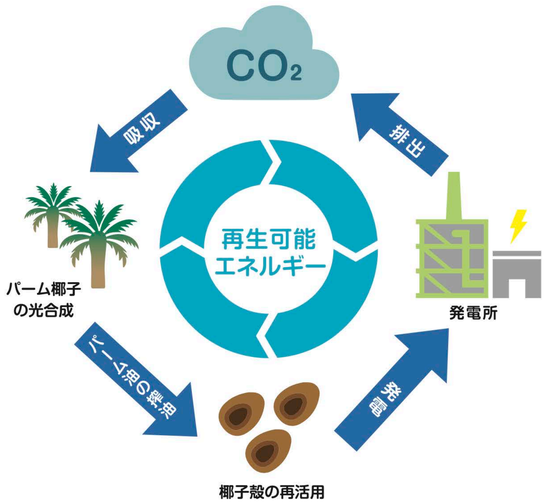
インドネシアにある2か所のストックパイルで燃料の安定調達を実現

燃料のPKSは、当社グループのインドネシア法人であるPT INTERNATIONAL GREEN ENERGY（IGE）が調達しています。IGEはインドネシアのスマトラ島にある2か所のストックパイル（出荷拠点）から、佐賀伊万里バイオマス発電所で使用するPKS燃料の安定調達を実現しています。



再生可能エネルギーとしてのバイオマス

バイオマス発電とは、生物由来の資源を燃焼したり、ガス化することで蒸気やガスを発生させ、タービンやエンジンを回すことでエネルギーを得る発電方式です。伊万里グリーンパワーでは、PKSを燃料として発電を行います。
燃料を燃やすとCO_2が発生しますが、パーム椰子は成長過程で大気中のCO_2を吸収します。このため、バイオマス発電は地球に優しい発電方法であると言われています。



バイオマス燃料の持続可能性を確保

佐賀伊万里バイオマス発電所が調達するPKSは、第三者機関によって持続可能性が証明されるGGL認証を取得しています。
持続可能で良質な燃料を調達し、環境や地域社会に配慮したバイオマス発電事業を展開しています。

※GGL認証は、2002年に発足した歴史の長い持続可能なバイオマス認証のひとつであり、調達されたバイオマス製品が持続可能な方法で生産されたという保証を提供するスキームです。